



☆
 貝と化石に魅せられた、
 一人のうちなーんちゅのはなし
 ☆

シカマイア・オザキイ CG 復元

2025.

1.18 ±

入場無料

14:00~16:00
 (開場 13:30)

講師 安里 開士 氏
 (福井県立恐竜博物館 研究員)

会場 沖縄県立博物館・美術館
 3階 講堂

受付 当日先着 (定員 200 名、無料)

お問合せ 098-941-8200

〒900-0006
 沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

「貝類学者になって、新種を見つける」— 小学校 1 年生のころ、慣れない漢字を使って書いた“ぼくの夢”になります。物心ついたときから貝の形に魅了され、その形がどこから来たのか知りたくなり、すぐに化石にも興味を持つようになりました。そんな中、ある化石図鑑のコラムで紹介されていたのが、「謎の化石、シカマイア」でした。

幼きうちなーんちゅは、いかにしてシカマイアと出会い、そして明らかにしていったのか—。昨年製作されたシカマイアに関する映像資料とともに、太古の浪漫あふれる貝と化石の研究の世界へ誘います。

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。
 ※席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。
 ※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。



【講師】安里 開士 (あさと かいと) 福井県立恐竜博物館 研究員

沖縄県出身、1991 年生まれ、福井県在住。福井県立恐竜博物館研究員。筑波大学大学院博士後期課程修了、博士 (理学)。専門は中・古生代の貝類化石、恐竜時代や恐竜よりも古い時代に生きていた二枚貝や巻貝について、どんな種類がいて、どこでどのように暮らしていたのかを研究している。4 歳のころ

から貝の魅力にとりつかれてしまい、今年で貝歴 29 年目。「琉球列島 地質・化石展」のチラシにあるサーフボードこと「シカマイア」の全容を解明し、その成果をまとめた論文は、日本古生物学会論文賞を受賞している。

あなたの沖縄に出会う

